



平成19年4月17日

各 位

会 社 名 東急不動産株式会社
コード番号 8815
問合せ先 執行役員財務部統括部長
山口 洋次郎
TEL (03) 5458 - 0648

特別損失の発生・業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記の通り特別損失が発生することとなりました。加えて平成19年3月期の業績予想(平成18年11月10日公表)を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

1) 販売用不動産評価損について(単体・連結)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(平成18年7月5日企業会計基準第9号)の早期適用により、158億円の評価減を実施いたします。

従前の簿価	評価損失
279億円	158億円

2) 子会社における事業再構築損失の発生について(連結)

(株)東急ハンズにおける事業再構築に係る損失 49億円を計上いたします。

2. 平成19年3月期業績予想の修正

1) 平成19年3月期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月10日発表)	225,000	31,000	13,000
今回修正予想(B)	223,500	40,500	13,500
増減額(B-A)	△ 1,500	9,500	500
増減率	△ 0.7	30.6	3.8
前期(平成18年3月期)実績	240,019	41,551	5,513

2)平成 19年3月期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月10日 発表)	580,000	50,000	30,000
今回修正予想(B)	575,000	59,500	30,000
増減額(B-A)	△ 5,000	9,500	0
増減率	△ 0.9	19.0	0.0
前期(平成18年3月期)実績	558,646	56,810	10,143

3)業績予想の修正理由

①単体

賃貸業におけるSPCが保有するビルの売却配当の増収増益、分譲業における投資家向けビル売却の増益に加え、販売費の減少等もあり単体経常利益を95億円増額修正いたします。

一方、上記1.記載の販売用不動産評価損による特別損失の計上、また税金費用等の減少などから当期純利益は5億円の増額となる見込みです。

②連結

単体の要因に加え、東急リバブル(株)の好調、(株)東急ハンズの下振れ等により、連結経常利益を95億円増額修正いたします。また、上記1.記載の販売用不動産評価損及び事業再構築損失による特別損失の計上等から、当期純利益は計画通り300億円を予定しています。

以 上